

# 《清初軍事史論考》

## 图书基本信息

书名：《清初軍事史論考》

13位ISBN编号：9784091038727

出版时间：1980-11

作者：阿南惟敬 著,防衛大学校人文科学教室東洋史研究室 編纂

页数：637

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：[www.tushu000.com](http://www.tushu000.com)

# 《清初軍事史論考》

## 內容概要

此處書號是隨便寫的。

本書收錄作者歷年研究成果，共收論文二十八篇，內容以八旗制度為主，兼及太宗至康熙時俄清關係

。其中，阿南惟敬年譜·著作目錄: p.p.617 ~ 633。

# 《清初軍事史論考》

## 作者簡介

阿南 惟敬（あなみ これひろ、1921年3月20日 -1975年11月17日）は、日本の軍事史学者。元防衛大学校教授。

東京出身。祖父は政府軍警部などを務めた阿南尚、父は陸軍大将の阿南惟幾、母は阿南綾子、その三男として出生。

陸軍士官学校(56期)。結核療養のため留年。1945年6月に陸軍士官学校(58期)を卒業したが、同年8月15日に終戦を迎える。戦後は防衛大学校教授。軍事史学界の中心人物として機関紙『軍事史学』を刊行するなど、軍事史学の研究で功績を残した。著作に『清初軍事史論考』などがある。

# 《清初軍事史論考》

## 版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:[www.tushu000.com](http://www.tushu000.com)